



最初にお読みください

■ TenQ AT-TQ4551/4552 リリースノート

この度は、AT-TQ4551/4552 をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、AT-TQ4551 取扱説明書（613-000612 Rev.B）と AT-TQ4552 取扱説明書（613-000613 Rev.B）、AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル（613-000615 Rev.B）の補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 1.0.4

2 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 1.0.3 から 1.0.4 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 2.1 高トラフィックのショートパケットを受信し続けると、無線間の通信においてパケットロスが発生することがありましたが、これを修正しました。

3 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 1.0.4 には、以下の制限事項があります。

3.1 NTP について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 48 ページ**

NTP が有効な場合に、date コマンドを実行して手動で時刻設定を行うと、コンソールの反応が遅くなることがあります。

3.2 スタティックルートについて

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 74 ページ**

ip route delete コマンドでは、スタティックルートのみ削除が可能です。ただし、RIP で得た動的ルート情報を削除しようとするとき実際には削除されませんが、スタティックルートを削除したときと同じように、削除したことを示すメッセージが表示されます。

3.3 IP フィルターについて

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 79 ページ**

filter add コマンドで with short と指定しても、IP ヘッダーが短い場合は IP パケットとして認識されずルーティングできませんので、フィルタリングはされません。

3.4 NAT について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 84 ページ**

NAT に関して、変換する IP アドレスに、ip address コマンドで本製品のインターフェースに設定した IP アドレスを指定しないと、通信できません。

3.5 DHCP サーバー機能について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 89 ページ**

本製品がブリッジモードで、DHCP サーバーを利用するインターフェースと DHCP クライアントが存在するインターフェースが異なる場合、クライアントが取得した IP アドレスをリリースしても、配布した IP アドレスの有効期間が過ぎるまでは IP アドレスはプールされたままの状態になります。

3.6 設定の保存について

本製品では、save コマンドを実行しないと下記の項目の設定が保存されません。

- ・ ユーザーモード / 特権モードのパスワード
- ・ SSH ホストキー / 公開鍵

3.7 エージングタイマーについて

AT-TQ4552 のジャンクションユニットのエージングタイムは 5 分ですが、1 分程度の誤差が生じることがあります。

4 取扱説明書・設定マニュアルの補足・誤記訂正

取扱説明書、および設定マニュアルの補足事項と誤記訂正です。

4.1 使用可能なコマンドの一覧表示について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 19 ページ**

ユーザーモードと特権モードでは、使用できるコマンドに違いがありますが、? キーを押して表示されるコマンド一覧には、同じコマンドが表示されます。

4.2 ping について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 42 ページ**

本製品で ping コマンドを実行して失敗した場合、「ping:send to :Host is down」というメッセージが表示される場合と、されない場合があります。宛先 IP アドレスが ARP テーブルに登録されていない場合はメッセージが表示されますが、登録されている場合にはメッセージは表示されません。

4.3 ファームウェアバージョンの表示について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 43 ページ**

ファームウェアのバージョンアップ後に、save コマンドを実行するまでは、show config コマンドで表示されるファームウェアバージョンは、バージョンアップ前のバージョンが表示されます。

4.4 NTP について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 48 ページ**

ntp server add コマンドで NTP サーバーのアドレスを設定すると、ntp enable コマンドを実行しなくても、自動的に NTP が有効になります。

4.5 SNMP について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 52 ページ**

- SNMP で、有線側、無線側のリンク状態を監視することはできません。
- SNMP に関する設定で、Trap のみを有効に設定することはできません。

4.6 ワイヤレス機能について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 63 ページ**

wireless txrate コマンドで、auto を設定した場合、通信タイプによって動作が異なります。

無線 LAN アクセスポイント、または、擬似 Ad-hoc の場合：

1、2、5.5、11Mbps…と送信速度の設定が順に上がる

無線 LAN 端末の場合：

IEEE 802.11b モードの場合は 11Mbps、IEEE 802.11g モードの場合は 54Mbps の設定になる

4.7 IP について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 72 ページ**

存在しないネットワーク宛の packets を受信した場合（ルーティングテーブルに宛先が登録されていなかった場合）には、ICMP Host Unreachable が送信されますが、存在しないホスト宛の packets を受信した場合は、何も送信されません。

4.8 IP フィルターについて

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 78 ページ**

nat enable コマンドを実行すると、filter enable コマンドを実行しなくても、自動的に IP フィルターが有効になります。

4.9 RIPについて

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 82 ページ**

インターフェースのリンクダウン / アップ状態にかかわらず、RIP パケットには、本製品が持っているインターフェース情報が含まれています。

4.10 DHCP サーバー機能について

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 89 ページ**

- show dhcp コマンドで表示される時刻表示は、グリニッジ平均時を表示します。
- 既に配布済みの IP アドレスに対して、別のクライアントからリクエストが来たような場合には、DHCPNAK メッセージが送信されます。
- DHCP サーバー機能は、無線インターフェースまたは有線インターフェースの、どちらか一方でのみ動作します。
- dhcp pool コマンドで設定する、配布する IP アドレスの範囲は、本製品が所属するネットワーク内で設定することができます。

4.11 フォワーディングデータベースについて

FDB に登録された MAC アドレスが、エージングタイムが経過しても削除されないことがあります。削除されるまでは、有効なアドレスとして扱われます。

4.12 ip route delete コマンドについて

 **「AT-TQ4550 シリーズ設定マニュアル」 76 ページ**

ip route delete コマンドの書式に誤りがありましたので、訂正してお詫び致します。

Ⓔ **ip route delete *Destination Netmask Gateway***

Ⓕ **ip route delete [*Destination Netmask Gateway ; all*]**

パラメーターに、all を指定した場合は、すべてのスタティックルートが削除されます。

4.13 保証書について

 **「AT-TQ4552 取扱説明書」 10 ページ**

「マニュアルの構成」の説明の中に、製品保証書についての記載がありますが、AT-TQ4552には製品保証書は同梱されておりません。訂正して、お詫び致します。